

DX人材育成を**成功**に導く

3つのポイント

01
Why

02
What

03
How

DXの課題～解決方法までご紹介！



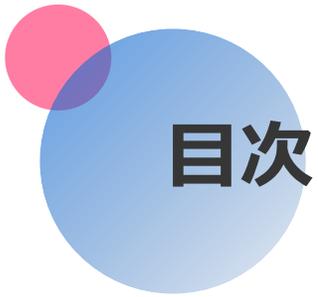
はじめに

日本では、2025年に企業が抱えるレガシーシステムの負債やIT人材の不足がより顕著になる「2025年の崖」問題をはじめとして、国全体でDXの遅れが課題となっています。

DX推進の課題はシステムやツールの導入だけにとどまりません。DX人材育成にも大きな課題があり、要点を押さえずに進めた結果としてDX人材育成に失敗する企業も少なくありません。

当ホワイトペーパーでは、DX人材育成を成功させる3つのポイントをお伝えするとともに、DX人材育成に最適なeラーニングプラットフォーム『Aidemy Business』をご紹介します。





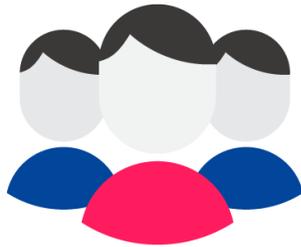
目次

P01	はじめに
P02	目次
P03	いまDXが求められている
P04	システム面だけではないDXの課題
P05	DXを推進する人材育成が必要
P06	DX人材育成の3つのポイント
P07	DX人材育成の3つのポイント① Why
P08	DX人材育成の3つのポイント② What
P09	DX人材育成の3つのポイント③ How
P10	Aidemy Businessとは
P11	DX人材育成の3つのポイントへの対応① Whyの解決
P12	DX人材育成の3つのポイントへの対応② Whatの解決
P13	DX人材育成の3つのポイントへの対応③ Howの解決
P14	お問い合わせ
P15	株式会社アイデミーの会社概要

いまDXが求められている

日本では、「レガシーシステムを抱える企業の割合が高い」「IT人材が不足する」「レガシー負債が予算を圧迫する」といった「2025年の崖」問題があり、DX推進が急務となっています。

「2025年の崖」3つの課題



人材面

IT人材不足
43万人



技術面

基幹系システムが21年以上の企業
約60%



予算面

IT予算内のシステム維持管理費割合
約90%以上

システム面だけではないDXの課題

DX推進の課題はシステムやツールの導入の遅れだけでなく、社内の意識や体制、人材の課題など多岐にわたります。

よくあるDXの課題例



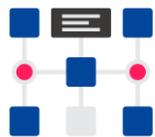
社内の雰囲気の問題

- 企業全体の将来への危機感が不足
- 社内の変革への抵抗感



人材の問題

- 社内でのDX人材育成が困難
- DX人材の採用が困難



プロジェクト実施の問題

- 様々な取り組みを行っているが成果が出ない
- プロジェクトの中止・撤退の判断が困難



提携の問題

- 適切な提携先が見つからない
- 提携先とのバランスの取れた連携が困難



システム・制度面の課題

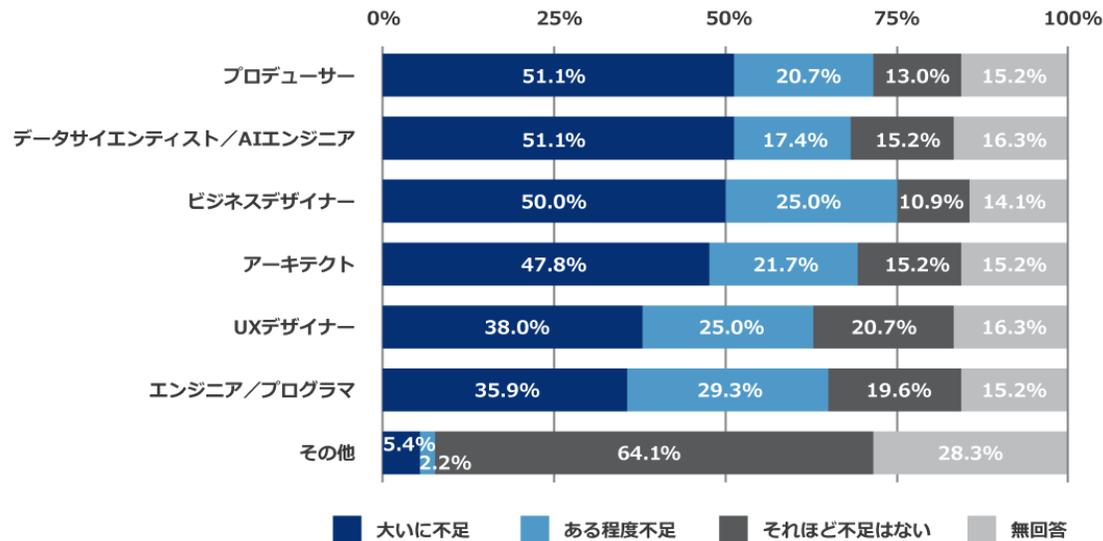
- 既存システムの改修の負担が大きい
- DX人材のための新たな人事制度・給与体系の整備不足

当ホワイトペーパーでは、中でも課題感の大きいDX人材育成に注目

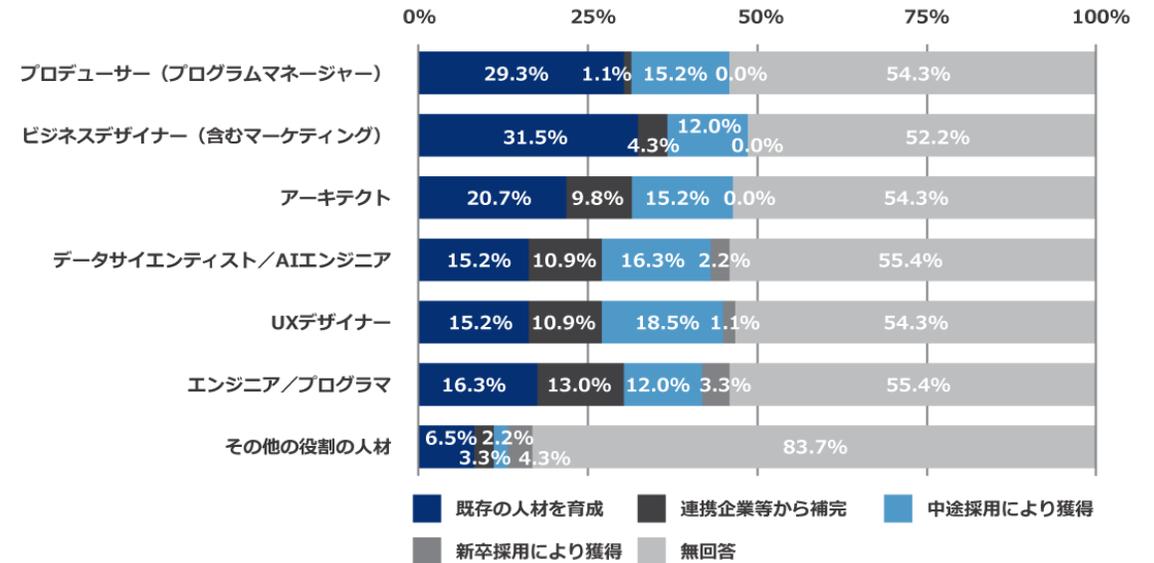
DXを推進する人材育成が必要

多くの企業ではDX推進人材が不足しており、さらに育成手段の主流は社内育成と考えられています。

DX推進を担当する人材の不足感



DX推進を担当する人材の獲得・育成方法



参照：デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査

「大いに不足」「ある程度不足」を合わせて、あらゆる職種で6割以上が不足している

全体を通して、中途採用よりも既存人材の育成が求められている

DX人材育成の3つポイント

DX人材を育成するためにはWhy・What・Howの3つのポイントを押さえることが重要です。

DX人材育成の3つのポイント



Why

DX実現の重要度に対する
全社的な理解・浸透



What

どのような課題を解決するか
の意識付け



How

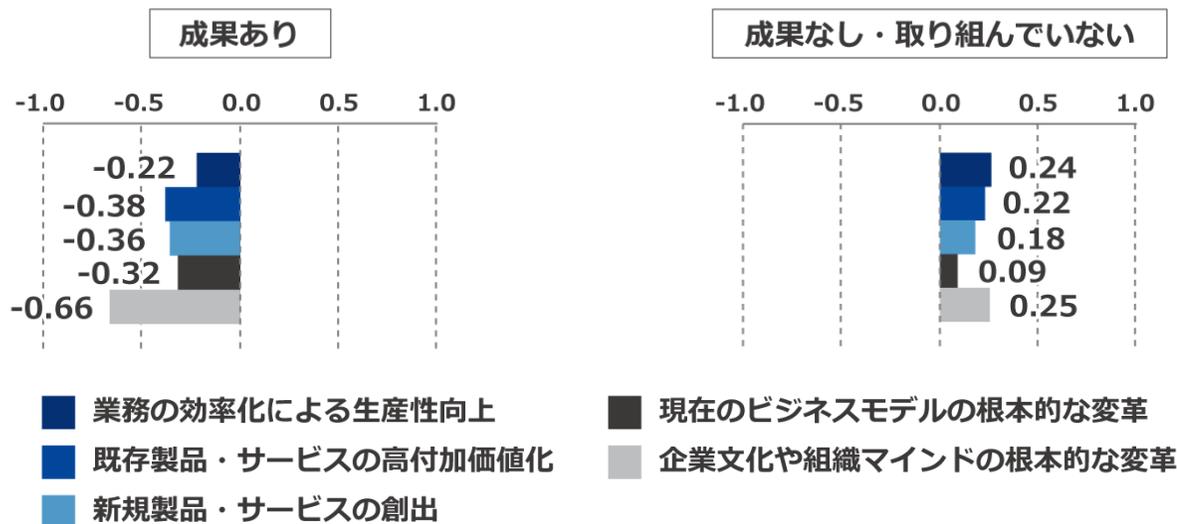
実務まで落とし込める
育成方法

DX人材育成の3つのポイント① Why

DX実現の重要度やメリットを理解し、会社全体へ浸透させることはDX推進の根本となります。

DXに対応する上での課題【DX取り組み内容と成果別】

【取り組み内容】DXの前提となる将来への危機感が、企業全体になかなか浸透しない



参照：IPA情報処理推進機構『IT人材白書2020』

DX推進の成果が出ていない企業は、「DXの前提となる将来への危機感が、企業全体になかなか浸透しない」という課題に当てはまっている

DX推進のメリット

- ✓ コスト削減
- ✓ 生産性の向上
- ✓ 新規顧客の獲得
- ✓ ロイヤルティの強化
- ✓ 新規事業の拡大
- ✓ ビジネスモデル変革
- ✓ 働き方の改革
- ✓ 企業文化の変革 etc.

現場への浸透や新しい技術の導入をどのように行えばいいのか、その方法を次に続く「②What」「③How」のスライドでお伝えしていきます。

DX人材育成の3つのポイント② What

DXでどのような課題を解決するかの意識付けを行い、課題の設定から実務までを見据えます。課題の設定を誤った状態で人材育成を行うと、実現したいDXに必要な能力・技術が身につかず実務に活かせなくなります。

リストアップ

経営陣から現場社員まで広くヒアリングを実施して、DXの解決対象となりうる課題をリストアップする。

優先順位づけ

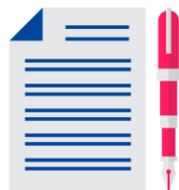
リストアップされた課題に対して、解決までの「リードタイム」「インパクト」「実現性」といった観点から優先度をつける。

育成方法の選択

最優先の課題を解決するにあたり必要となる能力・技術を明確にし、身につけるための育成方法を考える（アイデミー社がサポート）。

DX人材育成の3つのポイント③ How

課題設定を踏まえつつ、実務まで落とし込める人材育成方法を選択します。



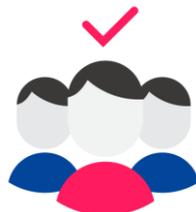
実務と結びつけた学習

実現したいことを基にした課題設定（What）を踏まえ、育成のカリキュラムを逆算的に設定することで、学習が必ず実務に結びつくようにする



プロジェクトの役割の理解

プロジェクトが全社として必要なDX推進の重要な一部を担っていること（Why）をメンバーが理解することで、全社的な意識統一につながりやすくなり、全社的なDX推進の成果が出やすくなる



推進者の選定

プロジェクトに必要な要件に合う人材を、学習状況から見極めDXの推進者として選定する

Aidemy Businessとは

AIを中心としたDX人材育成・組織づくりを支援し、 事業成功へ繋げるeラーニングプラットフォーム

Aidemy Businessは、AIを始めとする先端技術の学習をPC・タブレット・スマートフォンで行えるだけでなく、組織で効果的に利用するために必要な**管理機能**・習熟度を測る**テスト機能**・意図した順序で学習を進めてもらうための**カリキュラム機能**などを一通り揃えた**eラーニングプラットフォーム**です。



DX人材育成の3つのポイントへの対応① Whyの解決

エンジニアだけでなく、ビジネスプランナーやディレクターから経営層まで受講することができるため、全社的な意識改革につながります。

カリキュラム大枠例



AI/ML 教養・リテラシー

- 人工知能・機械学習・ディープラーニングの概論を理解できる
- ビジネスプランナーやエンジニアと適切なコミュニケーションをとることができる



AI/ML ビジネスプランナー

- 機械学習プロジェクト特有の精度と投資の関係を把握し、投資対効果を明確にできる
- 機械学習で解くべき課題を特定し、どのようなデータを使ってモデリングできるか仮説を立てることができる



AI/ML ディレクター

- 機械学習の実装方法の基本を学ぶことができる
- データサイエンティスト・機械学習エンジニアに対して適切にディレクションできる



AI/ML エンジニア

- 機械学習・ディープラーニングの基本を実装できる

DX人材育成の3つのポイントへの対応② Whatの解決

課題の定義や整理、アプローチをアイデミー社のカスタマーサクセスがサポートします。プロジェクトの立ち上げ支援があるため、学習自体がゴールにならないように設計されます。

課題選定

学習の成果を示すために課題の中から案件を選定。

要件定義

課題の原因・誰がどう解くかを、学習と並行して進めながら定義。

実案件/PoC推進

課題の原因・誰がどう解くかを調整して実案件を推進。

実案件やPoC推進から逆算して課題を設定することで、
解くべき「What」を的確に設定できる

DX人材育成の3つのポイントへの対応③ Howの解決

設定した課題を基にして、アイデミー社のカスタマーサクセスが、どのような人材が必要かを明確にして、自社に最適なオリジナルのカリキュラムを体系的に用意することができます。

カリキュラム管理

編集するカリキュラムを選択してください。

デフォルトカリキュラム

カリキュラムに登録するコースをドラッグ&ドロップで選択してください。

選択可能なコース カテゴリ 全て

Python×Excelでデータ分析 テスト出題不可
○ 1.5時間 難易度 ●●●●
Pythonでのデータ分析の概要と、Excelを操作してデータ集計と可視化をする方法について学習するコースです。...

プログラミング超入門 テスト出題不可
○ 2時間 難易度 ●●●●
プログラミング言語って何をやるの？ たくさんある言語は何か違うの？ 知りたいけど意外と誰も教えてくれな...

Linux実践 テスト出題不可
○ 3時間 難易度 ●●●●
本講座では実際にVirtualBoxという仮想環境を用いてUbuntuをインストールし、基本的な設定方法や使い方、...

選択済みのコース

ビジネスパーソンのためのDX入門講座（サマリー版） テスト出題不可
○ 1.5時間 難易度 ●●●●
「DX推進を迫る世界的な社会構造の変化」「DXを阻む日本特有の社会構造」「DXとは何か」を理解したいビジネス...

ビジネス数学
○ 1時間 難易度 ●●●●
【英語版コース有り】ビジネスでは数学を実践的に扱うことが多々あります。そこで、本コースでは実際のビジネス...

CNNを用いた画像認識
○ 3時間 難易度 ●●●●
深層学習（ディープラーニング）を用いて、主に画像認識で...



お問い合わせ

AIを中心としたDX人材育成・組織づくりに関する**無料相談**を受け付けております。
Aidemy Business活用に関する具体的なご提案もいたしますので、お気軽にご連絡ください。

DXのご相談はこちら

TEL : 03-6868-0998

サービスHP : <https://business.aidemy.net/>

[お問い合わせ](#)

株式会社アイデミーの会社概要

代表取締役
執行役員社長
CEO

石川 聡彦 (Akihiko Ishikawa)

会社理念

先端技術を、経済実装する。

所在地

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町一丁目1番地 山甚ビル3F

技術
アドバイザー

國吉 康夫 教授 (東京大学大学院情報理工学系研究科)

株主

経営陣, 東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTECH), Skyland Ventures, 大和企業投資, ダイキン工業, テクノプロ, 東京大学協創プラットフォーム開発(東大IPC), 千葉道場ファンド, 個人投資家

資本金

7.7億円 (資本剰余金含む。2021/6/21現在)

従業員数

88名 (アルバイト含む。2021/5/31現在)

加盟団体



経団連



一般社団法人
日本ディープラーニング協会

